

### 鈴鹿市の海岸堤防整備について

**(質問)** 本市の海岸堤防は、三重県管理部分が約12キロメートル、市の管理部分が約3キロメートルである。本市が管理する3キロメートルの海岸堤防の現状を問う。

**(答弁)** 本市は白子・若松・鈴鹿の3漁港を管理している。令和2年度から耐震性能調査に着手し、漁港の土質調査、地震の耐力判定、想定される高潮や津波の高さと堤防の高さの関係などを調査している。照査結果を基に、対策工事の必要性や緊急性などを踏まえ、隣接海岸堤防との整合性を考慮しつつ、残りの断面の照査と改修工事を検討する。



### 8050問題について

**(質問)** 8050問題は、長年ひきこもりの中高年家族（子ども）を高齢者の親が支えるという社会問題であり、今までの属性別福祉制度では対応できないと考えるが、重層的な「いきやすさ相談窓口」などの設置はどうか。

**(答弁)** 8050問題は、社会的に孤立状態になる事が多いので、既存の福祉制度では対応が難しく、多様な視点からの対応が必要である。また、障害者手帳を持たない方への対応については、大変重要な課題であると考えており、相談窓口の拡充など支援体制の充実に取り組んでいく。



### 防犯対策について

**(質問)** 防犯カメラは犯罪を抑止する、解決する、体感治安を良くする手法として大変有効な取り組みである。しかし、自治会などの団体による防犯カメラ設置数は伸びていないため、設置促進に係る行政としての取り組みを問う。

**(答弁)** 防犯カメラの設置は、地域の防犯力の向上に重要な役割を果たすことから、防犯活動を行う自治会などの団体が設置する防犯カメラについては、これまでと同様に設置費の補助や管理体制への助言など、行政としても積極的に支援していきたい。

**その他の質問** ○豪雨による被害対策



### 国民健康保険の保険料について

**(質問)** 本市の国民健康保険事業特別会計は、2016年度の保険料引き上げ以降、毎年黒字で、支払準備基金への積み立てにより、基金残高が17億円にも達している。この基金の活用により保険料の引き下げ、特に子どもにかかる均等割保険料をなくすことを求める。

**(答弁)** 国保財政の収支バランスや、被保険者に対する給付と負担のバランスを見ながら、基金の処分や保険料の引下げを慎重に検討する。また、子どもの均等割保険料の軽減割合などの拡充について国に要望を続ける。

**その他の質問** ○非正規職員



### 生活交通(地域公共交通)について

**(質問)** 公共交通の予算が低すぎる。桑名市並みに増額し、行政主体で行えば、デマンドバスを全市的に展開できるのではないか。地域の需要があっても地域主体では負担が重いため導入ができず、利便性の高い地域公共交通の実現は不可能と考える。しっかり対策を取らないと、市民の生活が持続不可能になる。

**(答弁)** 地域主体の移動手段確保のための手引書を作成し、関係者と連携して支援する。持続可能な地域公共交通ネットワークの構築が必要であると考えている。

**その他の質問** ○鈴鹿市の平和行政



### 学校の指導について

**(質問)** 子どもたちがお互いを尊重し合い、認め合うことによって、自分の意志で好きな制服を選択できることが重要と考える。市内の中学校のジェンダーレス制服の現状を聞く。

**(答弁)** 既に全学年が「ブレザー・スカート・ズボン」から選択できる中学校が4校、令和5年度の新入生から選択できるようになった中学校が2校ある。「学生服」と「セーラー服」の中学校は4校あるが、千代崎中学校は令和6年度の新入生から、創徳中学校は令和7年度の新入生から新制服に変更する。

**その他の質問** ○ノックス法

